

武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議（第 12 回） 議事要録

- 日 時 平成 30 年 5 月 31 日（木） 19：00～21：00
- 場 所 武蔵野市役所 412 会議室
- 出席者 委員 13 名、事務局 6 名
小澤（紀）委員長、鈴木（雅）副委員長、大沢委員、大谷委員、上吉川委員、
木村文委員、佐久間委員、志賀委員、塩澤委員、鈴木（圭）委員、田中委員、
村井委員、木村浩委員
- 議事等 1 エコプラザ（仮称）の機能、空間活用について
2 環境市民団体へのアンケート調査項目について
3 その他

1 エコプラザ（仮称）の機能、空間活用について

発言者	要旨
事務局	<p>資料 1 は、昨年度作成したものに前回までの会議の内容を追加し、「改訂版 2」とした。「全体的な視点」は、確定したものではなく、今後の会議で進化するものと思っている。「機能・手法」についてはこれまで出たご意見を列挙しており、「空間活用」や「環境テーマ」との組み合わせ、環境テーマ同士をつなげる視点などがこれまで議論されているので、グループワークの参考にしていただけたらと思う。「運営」や「空間」については、本日以降の会議で、内容を増やしていただきたい。</p> <p>本日のグループワークは、各グループに白紙の平面図を用意しているので、模型等を参考にしながら空間の活用案をまとめていただく。</p>
委員	<p>新工場棟は既に完成しており、2 階に見学者コースがある。新工場棟東側のバス通り沿いにはコミュニティスペースがあり、エコマルシェ等のイベントはここで行われている。煙突は既存のものを耐震補強し、再利用している。今は、旧工場棟の解体が終わり、ごみのピットだったところの穴を埋めており、これから芝生広場と新管理棟を整備する。新工場棟と新管理棟はデッキでつなぎ、芝生広場前に大階段をつくる。芝生広場で行われるイベントを大階段から、座って見られるようになっている。新管理棟には、見学者ホールと、コミュニティカフェができるようなラウンジがあり、新工場棟の見学者通路ともつながる。それらと連携することを前提として、エコプラザ（仮称）のスペースの活用方法を考えてもらいたい。</p> <p>エコプラザ（仮称）については、3 階を解体して 2 階に減築する予定。旧工場棟のプラットホーム（以下、プラットホームという）は、高さ約 7.5m、幅約</p>

	<p>15m、奥行約 54mほどあり、体育館ほどの広い空間となっている。プラットフォームにあるピット投入口はそのまま残すが、開けることができないため、芝生広場側の投入口を1か所ガラス扉にして出入口を設けようと考えている。ここから、プラットフォームに入ると、プラットフォームと旧事務所棟の壁を抜いてつなげるので、西側の旧事務所棟の玄関と芝生広場側のガラス扉が一直線につながるようになる。</p> <p>本日は特に、このプラットフォームをどのように活用できるかを重点的に考えてほしい。これまで「むさしの環境フェスタ」やクリーンセンター主催のイベントなどを開催し、イベント会場として利用できることは実証済みだが、日常的にどう使うことができるかを検討したい。</p> <p>南側と北側の出入り口は作業スペースやストックヤードに活用できそうなスペースがある。そのうち北側の出入り口については、トンネル状になっており、半分屋外になっている。</p> <p>旧事務所棟の執務スペースを区切る壁は取り外す予定で、20m×9m×高さ3m程度のフリースペースができる。その裏手側に2か所ほどの事務スペースを作りたいと考えている。2階にも同様のフリースペースができる。2階のサンプル図として、市が建物の管理、運営も連携していく形で環境政策課スペースを入れた。また、記録のストックが重要ということで、アーカイブスペースを配置した。</p> <p>本日配布の資料からキーワードを拾っていただき、「ここでこんなことがしたい」ということを検討し、提案いただきたい。例えば、キュッパというノルウェーの絵本に出てくる自分の思い出やいらなくなったものを集めて入れる棚をプラットフォームの壁に作ったり、スクリーンをつけたり、何かをつるしてみたりなど、立体的に考える活用方法もある。また、通路を使って何ができるかなど、外側の機能も皆さんで考えていただけたらと思う。</p> <p>検討内容は、1階と2階の平面図があるので、そちらに自由に書き込んでほしい。また、スペースの具体的なアイデアだけでなく、空欄部分に理念的なことや、キーワードなども書いていただきたい。できる、できないは考えず、まずはグループごとに自由な意見を書き込んでいただけたらと思う。</p>
<p>質疑応答</p>	<p>Q1：出入口の場所はどこになるのか。</p> <p>A1：旧事務所棟の西側から入る正面玄関、芝生広場からプラットフォームに入るガラス扉、プラットフォームのシャッターも開ければ出入りが可能。</p> <p>Q2：プラットフォームに窓をつくり、外から施設の中を見えるようにすることはできるのか。</p> <p>A2：今ある壁を抜くのは構造上難しい。唯一開けられるのが、プラットフォームと芝生広場をつなぐガラス扉、旧事務所棟とプラットフォームをつなぐ部分に</p>

	<p>なる。椿などの植栽を切り、道路から施設が見えるようにすることは可能。</p> <p>Q 3：2階からプラットホームを覗くことはできるのか。</p> <p>A 3：構造上できない。今、模型でお見せしている壁は構造壁で、取り払えないため、覗き窓をつくることはできない。基本的に、既設の建物のため、床を増やしたり、壁を抜いたりすることは難しい。可動式の階段を付けて上から覗くことはできるかもしれない。</p> <p>Q 4：プラットホームをイベントに使うことは可能か。</p> <p>A 4：可能。エコマルシェを芝生広場やコミュニティスペース、プラットホームとで開催することもできる。今は出店が 20 店舗ほどだが、開催場所を広げることで、さらに出店数を増やすことができる。なるべくフレキシブルに使いたい。イベントは多くても 1、2 か月に 1 回程度の開催になると想定されるため、プラットホームを有効活用し、普段から子どもたちが体験できるものなどがあれば良い。</p> <p>Q 5：電源、水道等は自由に提案できるのか。</p> <p>A 5：電源については、これから改修を行うため、要望があれば実現することができる。水道は配管の関係があり、一定程度の制限がかかる。</p> <p>Q 6：音響はどのようになっているか。</p> <p>A 6：以前このプラットホームでコンサートを開催したことがある。ロック系の音楽は大音量になると反響してうるさくなるため向いていないかもしれないが、クラシックやフォーク系の音楽は可能。</p>
各グループワークの検討結果については、別紙参照	

2 環境市民団体へのアンケート調査項目について

発言者	要旨
事務局	<p>資料 2 は市内の環境市民団体宛に送付するアンケートの項目案。実際に環境活動をされている団体の皆様に、エコプラザ（仮称）の整備の検討を周知しつつ、どんなことがエコプラザ（仮称）に期待されているのか、どのようにご協力いただけるのかなどについて調査する。</p> <p>「1 団体の概要について」では団体の活動分野や規模、活動歴について、「2 活動状況について」は活動の状況や拠点の有無、「3 エコプラザ（仮称）について」ではエコプラザの認知度、「4 団体の活動における課題とエコプラザ（仮称）の役割について」では団体での活動上の課題や、課題解決に向けたエコプラザへの期待度、「5 エコプラザ（仮称）に期待する役割について」ではエコプラザに期待する機能、「6 その他」ではプラットホームの活用アイデアとその他全般の事項を記述式でお聞きする。</p> <p>アンケート送付予定の団体は、第五期長期計画策定の際に意見交換会にお声</p>

	<p>がけした緑・環境分野の団体、市がこれまでイベント等でご協力いただいている団体等、計 100 団体を予定している。エコプラザ（仮称）の検討の状況や経緯については、依頼文等で別途説明を行う。</p> <p>資料 2 のアンケート案については、6 月 5 日（火）までに修正、質問項目の加筆等の要望を事務局までいただきたい。</p>
--	--

3 その他の事項について

発言者	要旨
事務局	<p>3 月 24 日に行われた環境講演会について、資料 3 のとおり講演内容の報告を作成した。前回、アンケート結果については報告したが、今回の内容報告の作成にあたっては、江守講師にご協力をいただいた。内容を確認していただきたい。</p> <p>ニュースレター案については、メールで事前に送付したが、こちらについても 6 月 5 日（火）までにご意見をいただき、事務局で修正して委員の皆様にも再度ご確認いただいたうえで、6 月中の発行を目指したい。</p> <p>6 月の環境月間を啓発するために、6 月 1 日（金）まで市役所の 1 階ロビーで環境に関する展示を行っている。今回の特集は、地球温暖化とエコプラザ（仮称）の整備検討についてで、こうした機会も活用しながら、エコプラザ（仮称）の周知を進めていく。</p> <p>また、6 月 10 日（日）のエコマルシェでは、今回の模型を使ってエコプラザ（仮称）のブースを出店する。委員企画のエコプラザ（仮称）の見学ツアーとも連携するため、お時間があればお越しいただきたい。</p>